

研修事例

人材育成

支援先

笠間焼産地

笠間陶芸大学校事業による人材育成



図1 ロクロ課題実習風景(1年生)

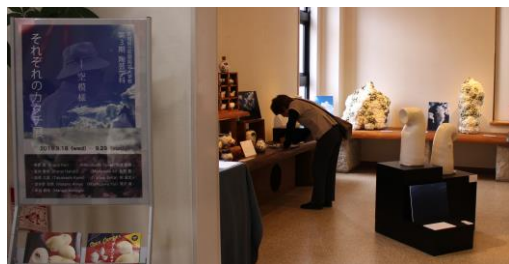


図2 課題作品展風景(2年生)



図3 研究科前期展発表風景(研究科)

【内 容】

本事業は、陶芸産地を担う人材を育成する目的で実施し、陶芸学科(1年生10名,2年生9名)と研究科(3名)の学生へ表1のカリキュラム内容で実施しています。

表1 各学科とカリキュラム

学科	カリキュラム(約200日1400時間)
陶芸学科 1年生	基礎課題, ロクロ成形課題(図1), 石膏課題, 手びねり等成形課題, 意匠課題, 釉薬調合, 焼成実習(ガス・電気・薪など), 各種講座など
陶芸学科 2年生	造形課題(5課題), ポートフォリオ課題, 各種講座, 卒業制作など
研究科	研究課題(前期・後期), インターン実習, 各種講座, 卒業制作など

学生は作品作りをとおして、何を表現したいのか、なぜ陶芸なのか、個としてモノを作る姿勢や考え方を身に付け、独自の技法・デザインを確立していきます。

令和元年度は計12名が卒業予定で、それぞれ現代陶芸作家を目指し、地元を中心に独立自営や窯元就業するなど、将来の笠間産地を担う人材として大いに期待されています。

また情報発信としてオープンキャンパス(授業体験・校内見学等)の開催や、学生作品展(図2, 3)を行うことで、窯業業界への当校PRに努めました。

【各種公募展における在校生・卒業生の受賞者一覧(令和元年間)】

- ・第25回日本陶芸展 優秀作品賞・文部科学大臣賞受賞 アイザワリエ 氏(平成29年度研究科卒)
- ・第25回日本陶芸展 入選 宮本 果林 氏(平成28年度研究科卒)
- ・第7回陶美展 奨励賞受賞 宮本 果林 氏(平成28年度研究科卒)
- ・令和元年度茨城県芸術祭美術展覧会 入選 増渕 悠颯 氏(令和元年度陶芸学科2年生)
- ・第8回菊地ビエンナーレ展 入選 波部 圭亮 氏(平成29年度陶芸学科卒)

基礎となった事業

令和元年度 笠間陶芸大学校事業

現在の担当グループ

陶芸人材G

グループ長

尾形 尚子

TEL:0296-72-0316

特任教授

佐藤 雅之

特任教授

五味 謙二

主任研究員

常世田 茂

嘱託

根本 達志

窯業材料G

主任研究員

吉田 博和